

# 総務教育常任委員会レポート

— 令和5年10月13日調査 —

詳しい資料は  
こちら



## 調査事件4 福島商業高等学校の魅力化

！ 高校魅力化と来年度の入学者確保に向けた取り組みの現状について資料が示されたので、内容を調査しました。

### 地元生徒へのPR強化！ 町外生徒の受入態勢を万全に！

取り組みの現状、今後想定される課題と対策には一定の理解をしたが、次の事項を検討願いたい。

#### 【調査の論点・意見】

1

#### 地元生徒へのPR

地元中学校から福島商業高等学校への進学が少ない要因として、生徒達が環境を変え新たな体験を求めているとの声も聞こえている。全国募集をきっかけに町外から生徒が入学することで、

地元の高校でも生徒達が求める新たな体験が得られると推察されることから、地元の生徒達に対しても高校の魅力化をしっかりとPRしていく必要があると思慮する。

2

#### 魅力ある教育課程の推進

オープンキャンパスにおいて、ドローンの操作体験を行っていた。高校魅力化の一つとしてドローン資格の取得は有効と考えるが、現状、高校ではドローン进行操作するための場所や指導できる教員等の体制が整っていないとのこと

であり、生徒が確実に資格取得出来るよう早急に体制を整える必要があると思慮されるので、教育委員会では、高校はもとより小中学校の教員（福島アカデミー）も含め連携して対応されるよう検討されたい。

3

#### 青少年交流センターの受入状況

オープンキャンパス等の状況から部屋数不足が見込まれるため、増築の方針は理解する。増築規模は1月の願書提出の状況を見ながら検討することだが、第6次総合計画では入学予定者数を20人としていることから、計画の人数も加味し総体的に検討しなお

す必要があると思慮する。物価高騰、大型事業が続く現状では慎重な計画検討が必要であり、寮で生活する生徒を指導・助言し見守るハウスマスターの増員等、入寮生増に対応する人員体制の整備も課題になると思慮するので早急に検討されたい。